小学校 外国語科 学習指導案

1. 日 時 令和〇年〇月〇日(〇)

2. 学 年・組 第6学年〇組

3. 単 元 名 Unit2 Lesson5 It was green. 春と秋を比べて (三省堂出版 CROWN Jr.6 より)

4. 単元目標

これまで小学校で経験してきた思い出についてオリジナルのクイズなどを通して「過去のこと」を振り返りながら、現在と過去の状態、過去に行った場所やしたこと、感想などとともに自分の気持ちや感想などを伝え合ったりできる。

5. 単元について

(1) 教材観

教科書にある「Presentation2(JUMP)」では、小学校での思い出を紹介する言語課題が設定されている。その言語活動に向けて本単元では現在と過去の状態を比べて話すことに着目させる活動が設定されている。また、児童が外国語での表現の違いに主体的に気付くように「現在」を表すときと「過去」を表すときの違いを音声で気付かせたりすることを導入としても行う。また、過去の出来事について「どこに行ったのか?」「何をしたのか?」という感想を伝え合う言語活動を通じて言語材料にさらに習熟させていく。

(2) 児童観

※ 省略

(3) 指導観

今回の Lesson5 では、写真の一部分が徐々に変化していく画像を見て、変化前の様子を〈It was 形容詞〉変化後の様子を〈It is 形容詞〉と表現することに、音声でのやり取りを中心としながら気付かせる活動を行う。また、市内の同じ場所を写した昔と今の写真を見比べる活動を通じて発話をしたくなる雰囲気を高めていく。また、既習語である went, saw, ate, enjoyed といった動詞の過去形については、【Word Chant】で扱った形容詞・名詞を用いて①行った場所 ②そこで何をしたのか ③その感想 というように、3文で意味の通るように文章を組み合わせる発話する活動を行う。これらのコミュニケーションにおける目的や場面、状況に応じた言語活動を通して単元の中心となる言語活動に慣れ親しむと同時に、子どもたち同士が互いに関わり、コミュニケーションを図ることを楽しみながら活動に取り組んでほしいと願っている。そして、本時で十分に慣れ親しんだ表現を使って、自分達自身の思い出について伝え合うという次時での活動につなげていきたい。

6. 言語材料

表 現	語 彙
<ul style="list-style-type: none"> ・It is yellow. ・It was green. ・It is a <i>soba</i> restaurant. ・It was a coffee shop. ・<u>We went to the museum.</u> ・<u>We saw a big T-rex.</u> ・I went to Lake Biwa. ・I saw a big rainbow. ・I was happy. <p style="margin-left: 20px;">※下線は新出表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新出語:dollar, now, sixth grade, was, 形容詞 (cool, cute, delicious, interesting など), 施設 (coffee shop, museum など), 動物 (butterfly, caterpillar, tadpole など), 飲食物 (cheeseburger, French fries, hot dog, popcorn など), そのほか (airplane, goal, much, truck, world など) ○既習語:for, I, is, it, this, what, 動作など (get, go, kick, look など), 動詞過去形 (ate, enjoyed, saw, went), 色 (black, gold, gray, yellow, white など), 形容詞 (beautiful, big, cold, exciting, funny, hot, nice, scary など), 施設 (hospital, restaurant, shopping center など), 自然 (mountain, rainbow, river など), 動物 (frog, horse, kangaroo, koala, mouse, T-rex など), 飲食物 (hamburger, cookies, peach, steak など), そのほか

7. 領域別目標

聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。【聞くこと イ】
話すこと [やり取り]	日常的な話題に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。【話すこと[やり取り] イ】

8. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の思い出を伝える言い方や, It was... , We went to ... , We saw... など過去の状態について伝える言い方について理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 過去のできごとについて, どこに行ったか, 何をしたか, その感想など, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの経験したことや思い出を知るために, 行った場所やしたこと, 感想を聞いて, その概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの経験したことや思い出を知るために, 行った場所やしたこと, 感想を聞いて, その概要を捉えようとしている。
話すこと [やり取り]	<p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の状態と過去の状態を比較して伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の状態と過去の状態を比較する語句や表現を用いて, それらを伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの経験したことや思い出を友だちや先生に伝えるために, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 行った場所やしたこと, 感想を伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの経験したことや思い出を友だちや先生に伝えるために, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 行った場所やしたこと, 感想を伝え合おうとしている。

9. 単元指導計画(7時間)

時	目標(◆)と主な活動(○【 】【 】) 【 】= 紙面化されている活動	評価規準			◎評価の観点<方法>
		知	思	主	
1	◆現在の状態と過去の状態を比較して伝える語句や表現に気づく。				※ 本時では記録に残す評価は行わないが, 目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても, 教員が児童の学習状況を確認する。
	○/k/, /g/の音をもつ語を聞いて, リズムに合わせて発音する。【Sound Chant】				
	○現在の状態と過去の状態を比較して言う文の意味を捉える。【Spotlight】 ○買い物でのやり取りを聞き, 概要を捉える。【実世界の英語】				
2	◆現在の状態と過去の状態を比較して伝える語句や表現を理解して使う。				

	<p>○あるものの現在の状態と過去の状態を比較して言う。</p> <p>○定型表現を使ってオーダーゲームをする。</p>				<p>※ 本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。</p>
3	◆現在の様子と過去の様子を比較して伝える語句や表現に気づく。				<p>※ 本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。</p>
	<p>○現在の様子と過去の様子を比較して言う文の意味を捉える。【Spotlight】</p> <p>○できごとなどの感想を伝える形容詞・名詞の読み方を聞いて発音する。</p> <p>【Word Chant】</p> <p>○イラストを見ながら音声を聞いて概要を捉える。</p> <p>【Enjoy Reading】</p>				
4	◆現在の様子と過去の様子を比較して伝える語句や表現を理解して使う。				<p>◎文字を補助にしながら音声に合わせて一緒に読んでいる。〈行動観察〉</p>
	<p>○文字を補助にしながら音声に合わせて一緒に読む。【Enjoy Reading】</p> <p>○市内の現在の様子と過去の様子を比較して話す。</p>	○			
5 【本時】	◆過去に行った場所やしたこと、感想を意味が通るように組み合わせる。				<p>◎過去のできごとについて話されているのを聞いて、どこへ行き、何をしたら聞き取っている。〈行動観察〉</p>
	<p>○（過去のできごととして）どこへ行き、そこで何をしたらかを伝える文の意味を捉える。【Spotlight】</p> <p>○過去に行った場所やしたこと、感想を表す文を正しく組み合わせることができる。</p>	○			
6 ・ 7	◆現在の状態と過去の状態を比較したクイズをつくり伝え合う。				<p>◎行った場所やしたこと、感想などを伝え合っている。〈行動観察〉</p> <p>◎自らの学習を自覚的に捉えている。〈振り返りシート〉</p>
	<p>○クラブ活動について、現在の所属と過去の所属を話されるのを聞いて概要を捉える。【Enjoy Listening】</p> <p>○過去のできごとについて、行った場所、したこと、その時の様子などを伝え合う。</p> <p>【Talk to Friend】</p> <p>○現在の状態と過去の状態を比較したクイズを作る。【Write & Talk】</p>	○	○		

10. 本時の学習 (5/7時間)

(1) 目標

小学校生活を振り返った旅日記を聞いて、これまでにどこへ行き、そこで何をしたらかをについて話されている内

容を理解することができる。

(2) 本時評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 過去の出来事についての表現を理解している。 <技能> 過去の出来事話されているのを聞いて、どこへ行き、何をしたか聞き取る技能を身に付けている。		

(3) 展開

児童の活動 【 】= 紙面化されている活動	指導者の活動	◇指導上の留意点 ◎評価<方法> ●準備物
1. Greeting ・はじまりの挨拶をする。 ・天気、曜日、日にちを答える。	・はじまりの挨拶をする。 ・天気、曜日、日にちを尋ねる。	◇挨拶等で英語を勉強する雰囲気作りをする。 ●絵カード
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>Hello, everyone. How are you? How is the weather today? How was the weather yesterday? What day is it today? What day was it yesterday? What is the date today? What was the date yesterday?</p> </div>		
2. Review ・感想を伝える形容詞・名詞を聞いて発音する。【Word Chant】 ・ジェスチャーゲームをする。	・感想を伝える形容詞・名詞を発音する。 ・ゲームのルールを説明する。	●タブレット ●大型テレビ
3. Introduction ・Small Talk を聞いて、本時の活動をイメージする。	・『旅の思い出』について話す。 ・どのような内容だったか確認する。	◇本時で使用する表現を使うことで、活動の見本となるようにする。 ◇めあてを示すことで、活動の見通しを持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> Today's GOAL : 旅日記を作ろう！ ～どこで、何をして、どうだった？～ </div>		
・本時のめあてを聞いて、活動の見通しをもつ。	・めあてを確認する。	●タブレット ●大型テレビ

<p>4. Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去にしたことを伝える言い方を思い出す。【Spotlight】 ・ルーレットを用いて、どのような文の組み合わせが適当なのか把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに行って何をしたか、どんな感想だったのか、話の内容を尋ねる。 ・どのような組み合わせであれば正解なのか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎指導者の問いかけに答えている。〈行動観察〉 ●タブレット ●大型テレビ
<p>5. Activity(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを神経衰弱の要領で操作し、意味が通るよう文を自由に組み合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを行い、やり方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎意味が通るように文を組み合わせている。〈行動観察〉 ●カード
<p>6. Activity(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを見て文を組み合わせ、都道府県名または国名を導き出す。 ・代表のグループが出来上がった文を発表し、その内容からどの場所のことか当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配付したカードの文を組み合わせると、ある都道府県や国を説明する内容になることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇導き出した答えの理由を問うことで、文の内容理解を深める。 ●カード
<p>7. Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートが書けているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自らの学習を自覚的に捉えている。〈振り返りシート〉 ●振り返りシート
<p>8. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの挨拶をする。 	
<p>That's all for today. Goodbye, everyone. See you next time.</p>		